



PCAN-Basic

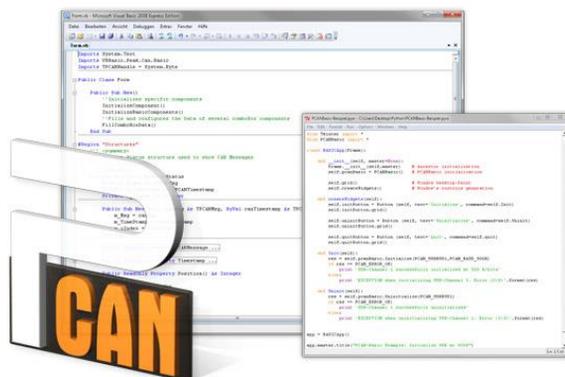
Windows® / Linux用 CAN / CAN FD ソフトウェアAPI

PCAN-Basicは、PCAN-Developerの廉価版のAPI（Application Programming Interface）で、PCANハードウェアに無償添付されます。PEAK SystemのPCANハードウェアと通信するためのCAN アプリケーションの開発を可能にします。このAPIは、デバイスドライバやDLLを含みます。

PCAN-BasicはC++、C#、C++/CLR、Delphi、VB.NET、Java、Phyton 3.x などの多くの開発言語に対応します。

主な特長

- Windows® 10/8.1/7（32/64ビット）、Windows® CE 6.x 又はLinux（32/64ビット）をサポート。（ISA、パラレルポート、PCカードの各インターフェイスカードは32ビット対応）
- サポートされているすべてのハードウェアタイプに対する
- 単一のDLL
- 1 CANチャンネルで、ドライババッファは最大32,768
- CANメッセージまで対応
- メッセージ受信時の通知（Windows® Event経由）



PCAN-Basic バージョン4では CAN FDに対応します

機能

Connection

- Initialize: ハードウェアのインシャライズ、ボーレートの設定、ドライバ ログオン
- Uninitialize: ドライバ ログアウト

Configuration

- SetValue: ハードウェアパラメータのセットアップ（デバッグログ、オートリセットなど）
- FilterMessages: レジスタメッセージ受信

Information

- GetValue: DLLとAPI情報の読み出し
- GetStatus: CANバス情報の読み出し
- GetErrorText: エラーコードの取得

CAN communication

- Read: CANメッセージやステータスの読み込み（タイムスタンプ付き）
- Write: CANメッセージの送信（11/29ビット ID、RTR）
- Reset: 送信、受信バッファのクリア

推奨ホストPC

- Windows® 10/8.1（32/64ビット）、Windows® CE 6.x 又は Linux（32/64ビット）
- プロセッサ 1.5GHz 以上
- メモリ 2GB 以上

納品内容

- インターフェイス DLL、ヘッダーファイル

この文書に記載されている内容は予告なく変更されることがあります。

2021年02月